

FUJITSU Software

シンプリア ティーエフ セットアールデービー

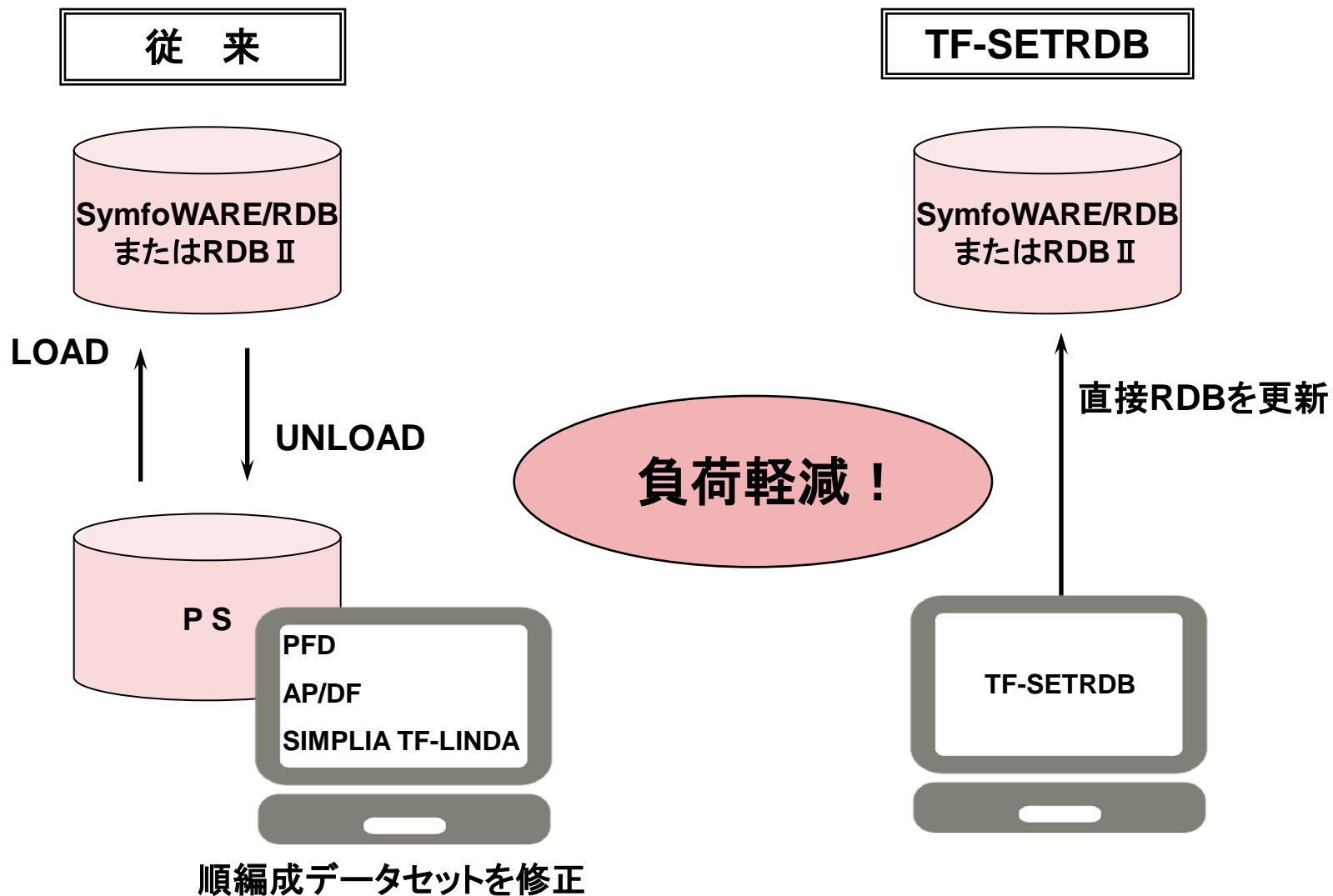
SIMPLIA TF-SETRDB V32

ご紹介

(リレーショナルデータベース更新・検証ツール)

第 5.4 版
富士通株式会社

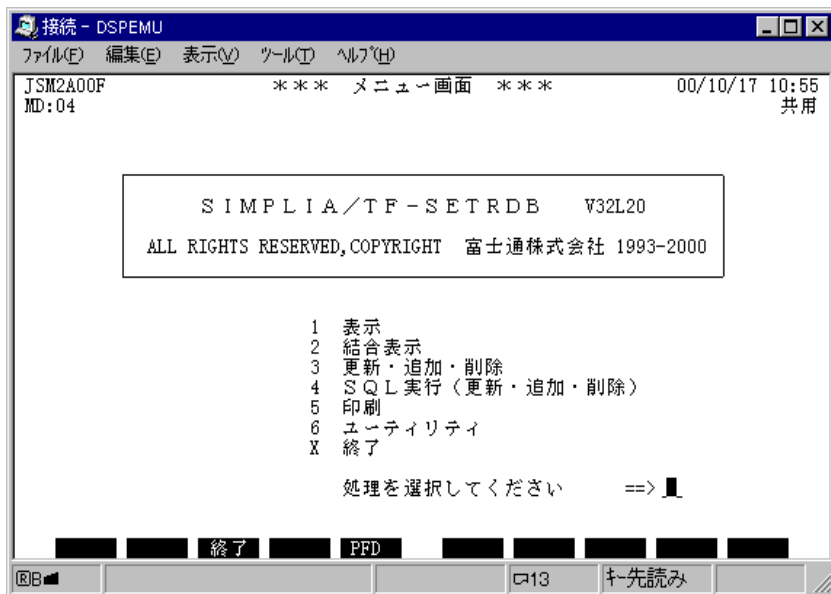
1. TF-SETRDBとは



2. 特長 1/3

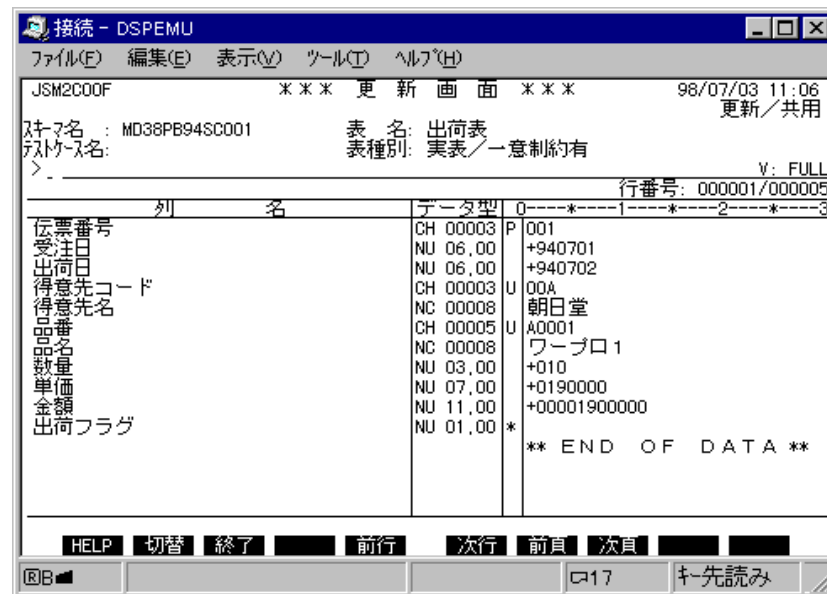
① 画面对話による容易な操作

SQL文を知らなくても、画面による対話形式で簡単にRDBのデータの更新・追加・削除・印刷等の処理が可能



② 見やすいデータ画面

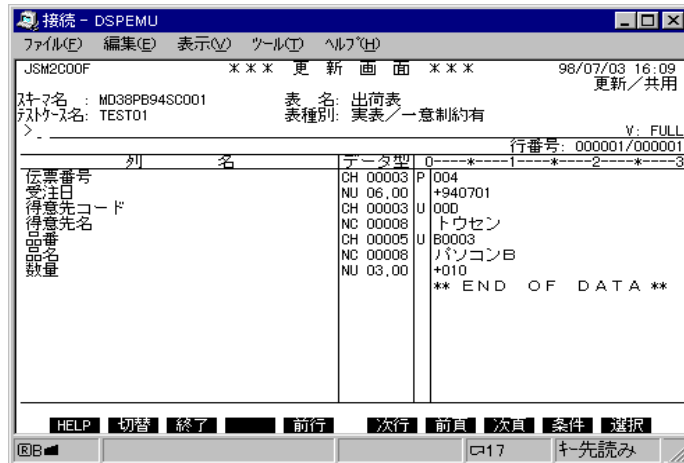
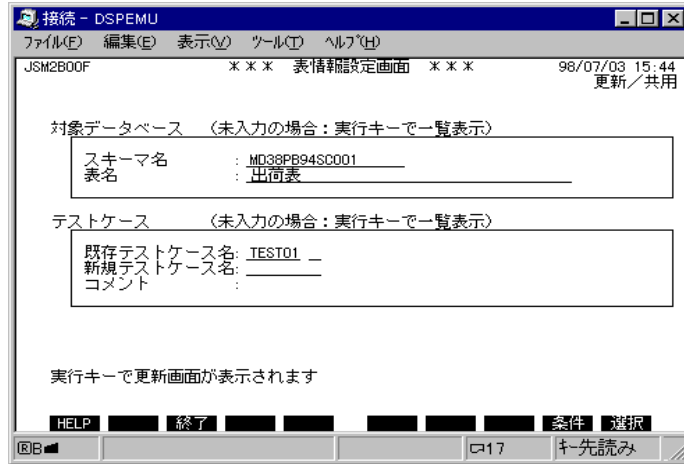
1行単位に列名・属性・データ内容を対にして表示するため、データの更新・検証が容易



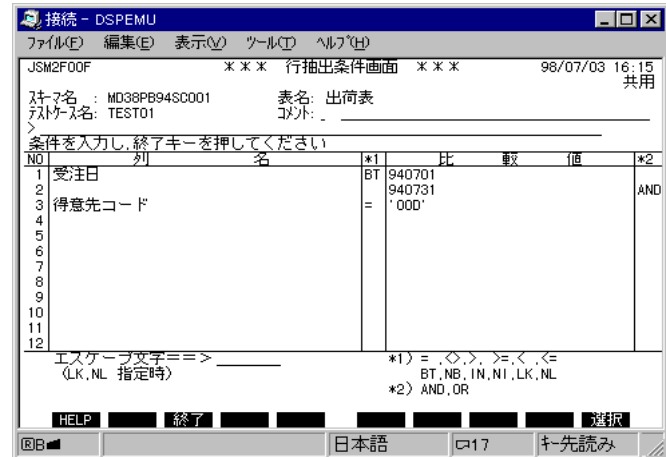
データ入力域

③ 条件・列名による特定データの選択が可能

条件指定、列名選択により必要なデータのみを更新・表示・印刷・UNLOADが可能
検索条件はテストケースとして保存し、繰り返し利用することが可能



● 表示する行を指定します



● 表示する列を指定します

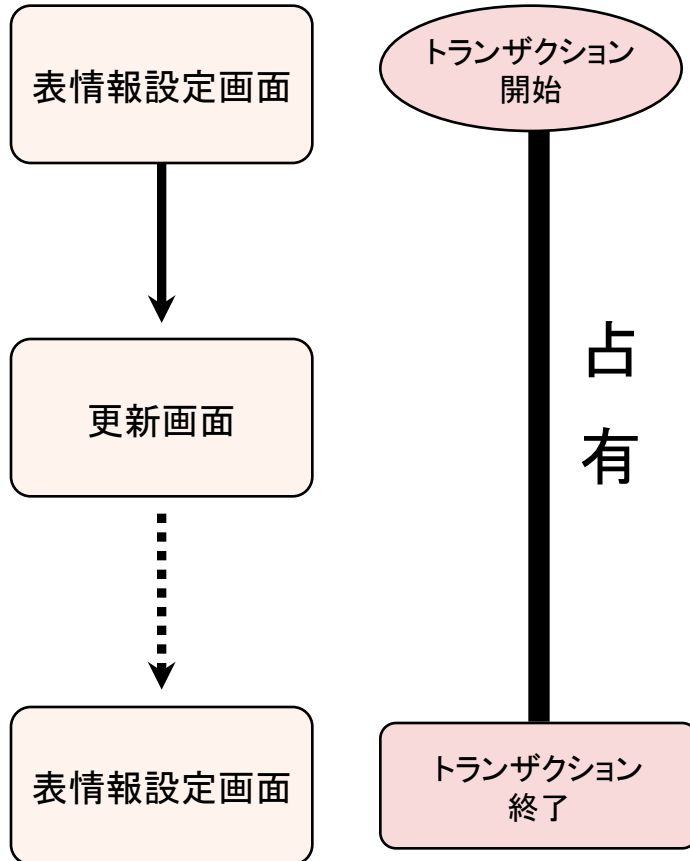


2. 特長 3/3

④更新時、動作モードにより表の占有状態が選択可能

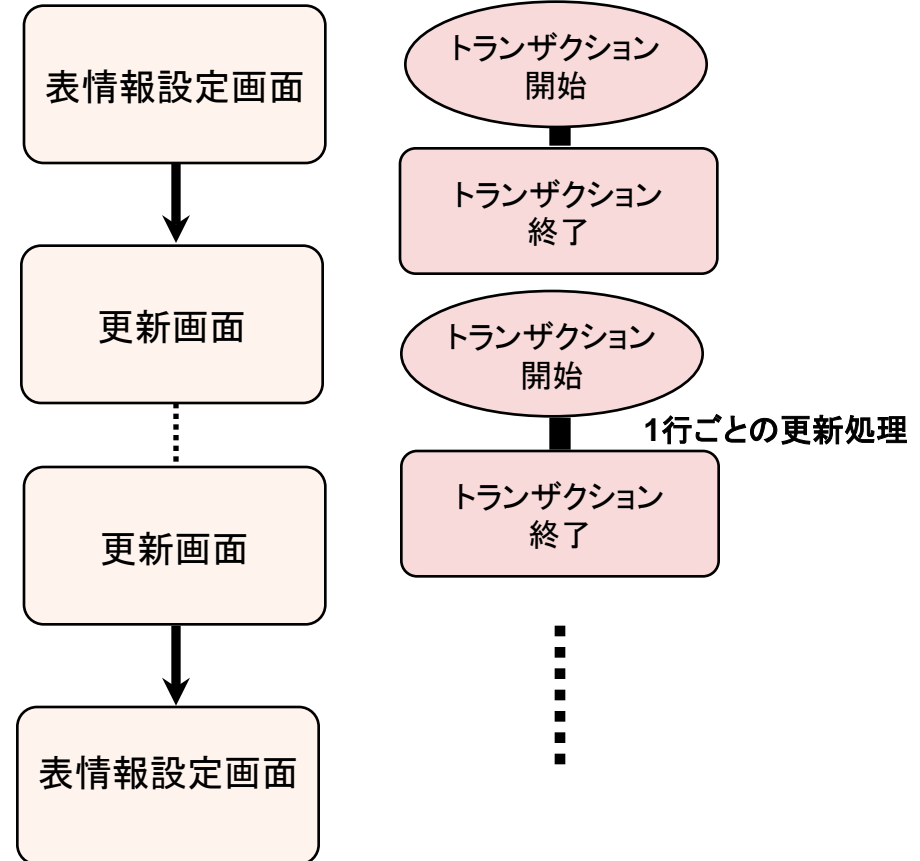
占有モード

処理対象の表を1人が占有.
他の利用者はアクセスできません



共用モード

複数の利用者が同一の表にアクセス可能



3. 機能概要

SETRDBには、次の機能があります

(1)更新機能

データの更新・追加・削除

動作モード選択

共用モード

占有モード

行抽出・列選択機能

文字型・BINARY型列内容のHEX入力 ※ V32L10

コピー句によるデータ操作機能 ※ V32L20

コマンド履歴表示機能 ※ V32L20

(2)表示機能 ※ V30L20

データの表示

行抽出・列選択＋ソート(OBJECT BY)機能

文字型・BINARY型列内容のHEX表示 ※ V32L10

コピー句によるデータ操作機能 ※ V32L20

コマンド履歴表示機能 ※ V32L20

結合表示機能(JOIN検索) ※ V30L20

データの表示

行抽出・列選択＋ソート(OBJECT BY)機能

文字型・BINARY型列内容のHEX表示 ※ V32L10

コピー句によるデータ操作機能 ※ V32L20

コマンド履歴表示機能 ※ V32L20

(3)SQL実行機能 ※ V30L20

INSERT

UPDATE

DELETE

(4)印刷機能

データ内容の印刷

行抽出・列選択＋ソート(OBJECT BY)機能

定義情報の印刷機能

(5)ユーティリティ ※ V30L20

UNLOAD

行抽出・列選択＋ソート(OBJECT BY)機能

表の定義

テストケース削除

※ V30L20 : V30L20での新機能

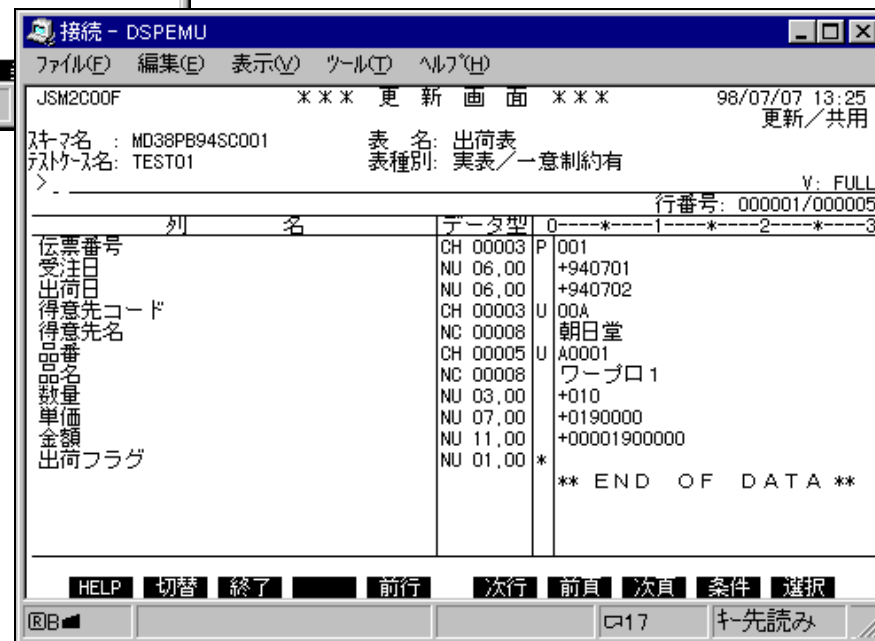
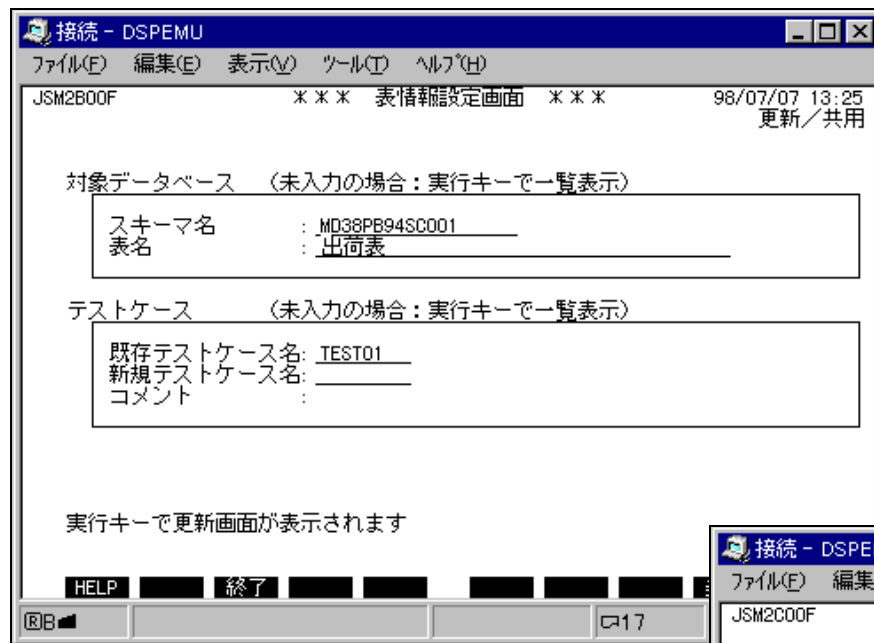
※ V32L10 : V31L10での新機能

※ V32L20 : V32L20での新機能

3-1. 更新機能

特長

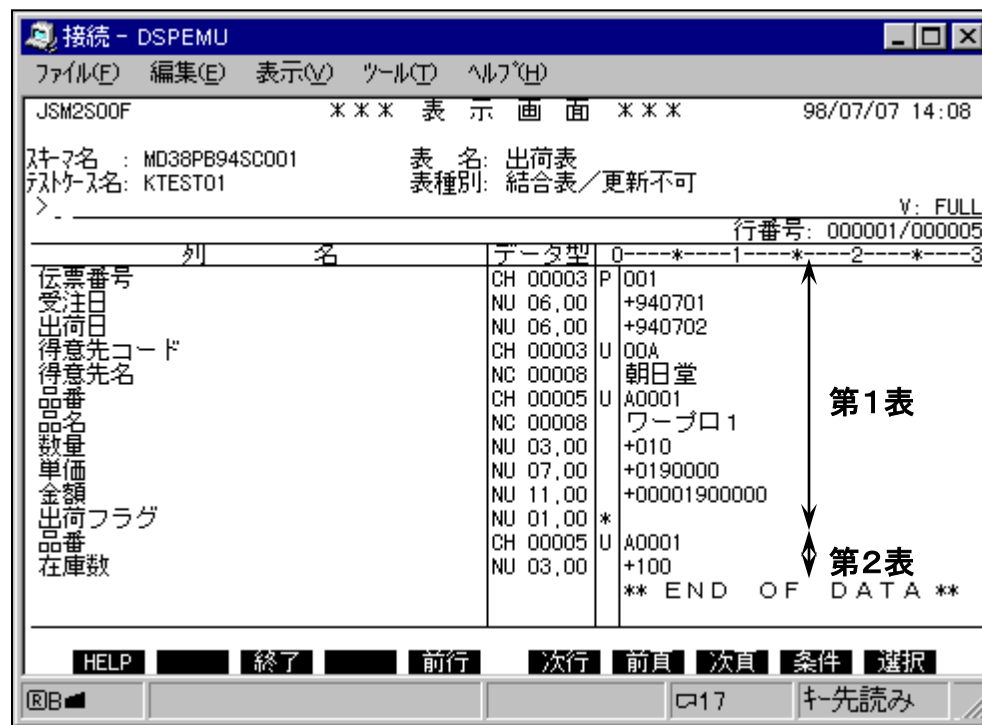
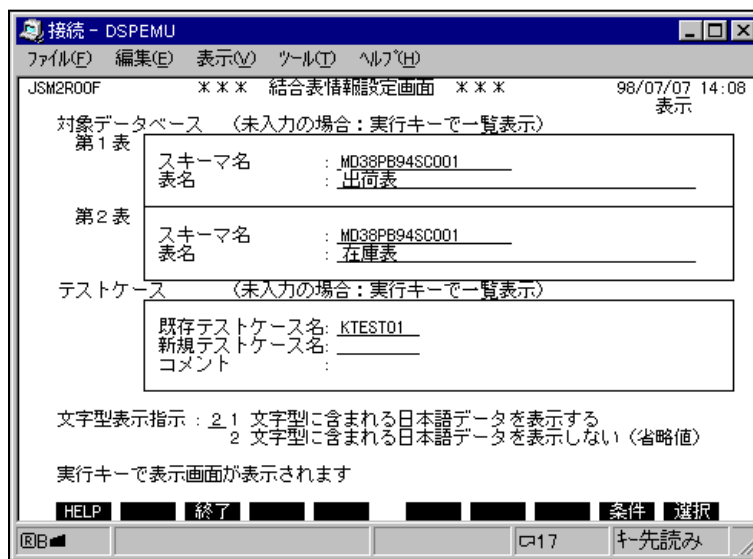
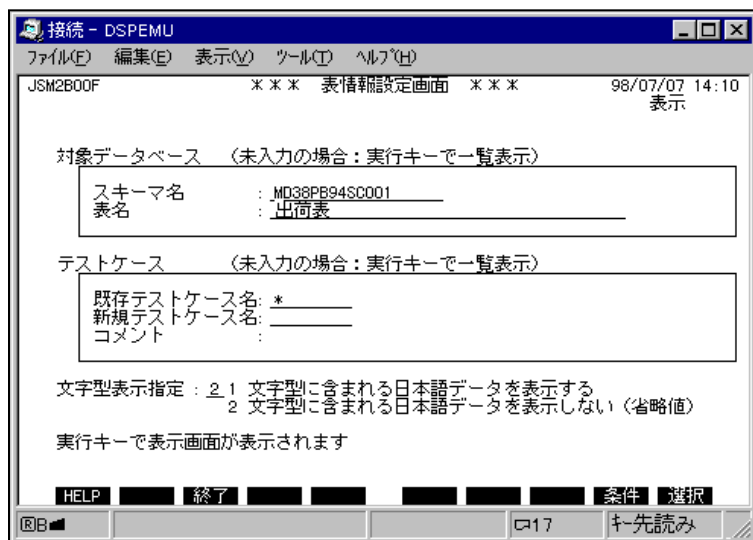
- ・1行単位に表示するため修正箇所が明確です
- ・列名とデータ内容が対になって表示されるため、データの更新・検証が容易です
- ・処理対象の表が一目で分かります
- ・表制約情報などが一目で分かります
- ・コマンドとファンクションキーの操作のみでRDBのデータを更新できます
- ・抽出条件、列選択は更新画面からでも変更できます



3-2. 表示・結合表示機能

特長

- 表を指定するだけで2つの表を結合し表示します
- 結合条件と行抽出条件を組み合わせて指定できます

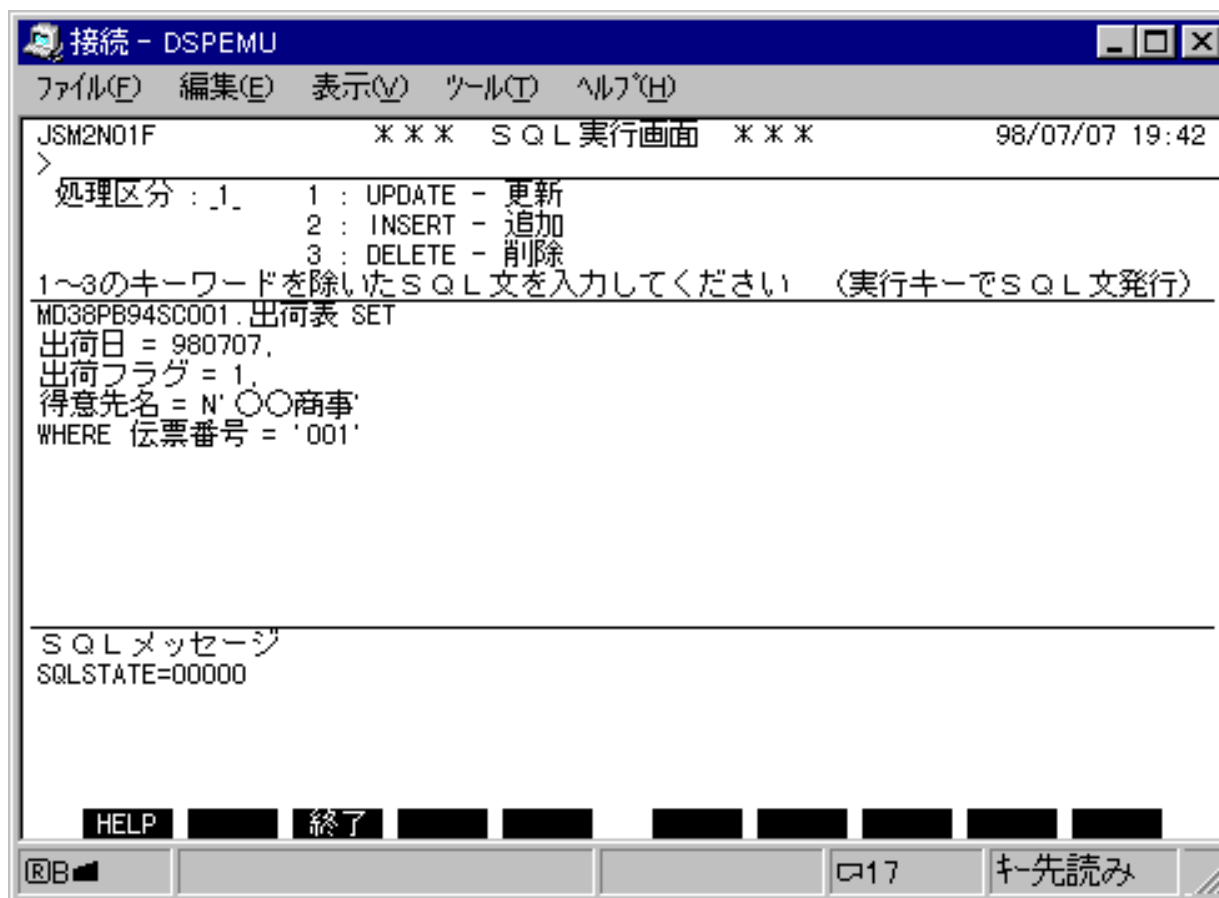


抽出条件にて、出荷表・品番＝在庫表・品番を指定

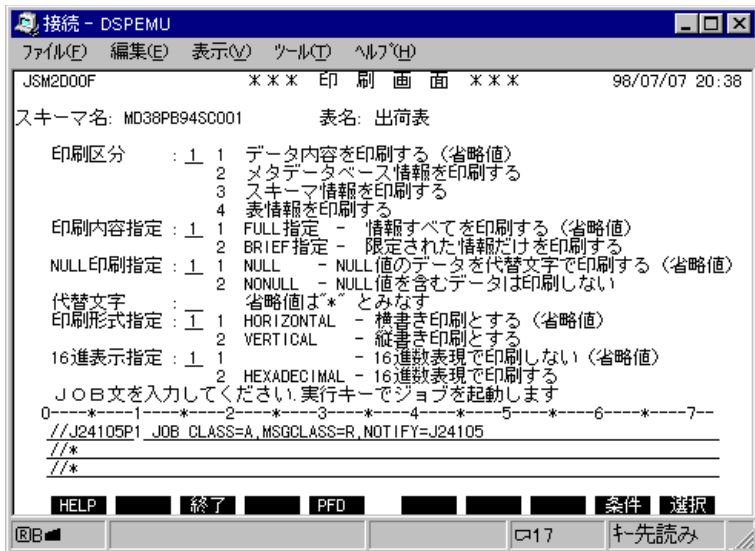
3-3. SQL文実行機能

特長

- ・ RDBの複数のデータ内容を一括して更新することができます
- ・ 値式や副問い合わせなど様々な条件式が自由自在に使用できます



3-4. 印刷機能



(印刷機能はRDBユーティリティのPRINT文を実行します)

OSIV SYMFOWARE/RDB UTILITY <PRINT> DATE 1998-07-10 TIME

REC-NO	伝票番号	受注日	出荷日	得意先コード	得
1	001	940701	980707	00A	〇〇商
2	002	940701	940702	00B	伊豆屋
3	003	940701	940702	00C	ビッグ
4	004	940701	940702	00D	トウセ
5	005	940701	940702	00E	ジョッ

OSIV SYMFOWARE/RDB UTILITY <PRINT> DATE 1998-07-10

*** DEFINITION OF TABLE INFORMATION *****

NO. 1 TABLE NAME 出荷表
 SCHEMA NAME MD38PB94SC001
 CREATED DATE 98.06.02 CREATED TIME 20:09
 UPDATED DATE 00.00.00 UPDATED TIME 00:00
 NUMBER OF INDEX 3 NUMBER OF COLUMN 11
 RECORD SIZE 99
 DBSPACE NAME MD38PB94

CONSTRAINT INFORMATION

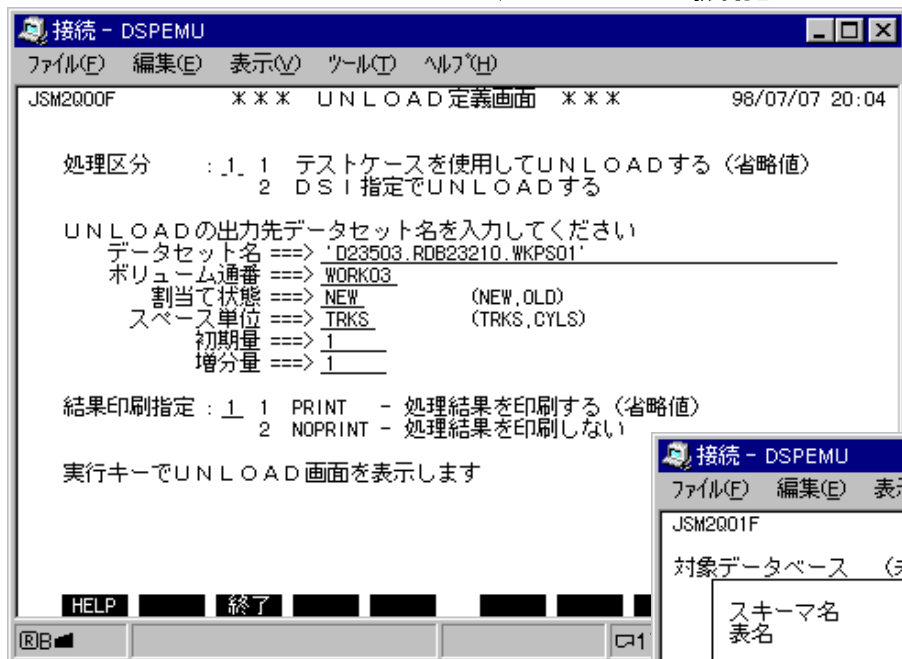
NO. 1 CONSTRAINT NAME SYSCONST6508090001
 NUMBER OF COLUMN 1 TYPE OI
 COLUMN NAME
 伝票番号
 NO. 2 CONSTRAINT NAME SYSCONST6508090002
 NUMBER OF COLUMN 1 TYPE OI
 COLUMN NAME
 得意先コード
 NO. 3 CONSTRAINT NAME SYSCONST6508090003
 NUMBER OF COLUMN 1 TYPE OI

特長

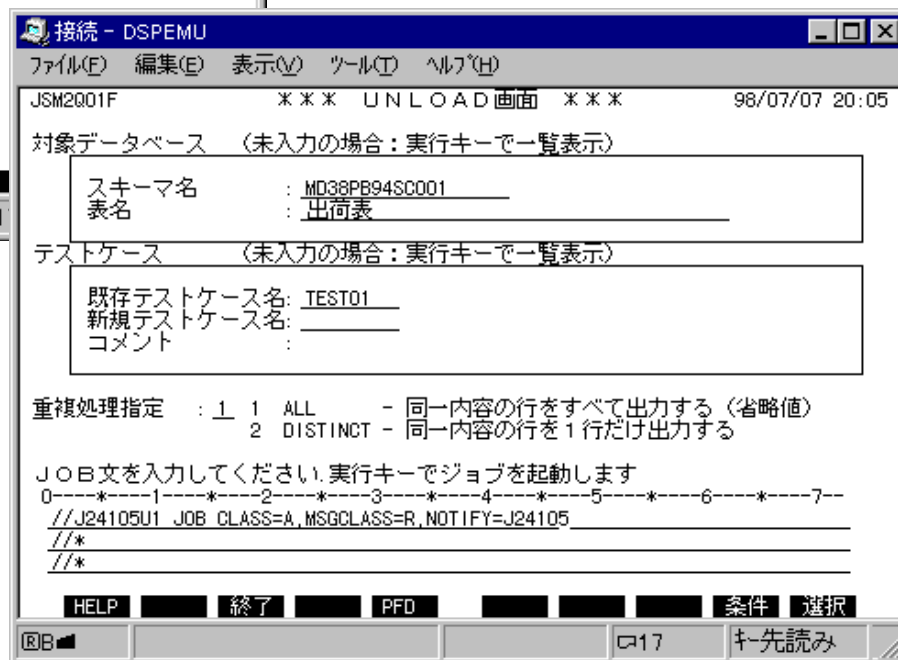
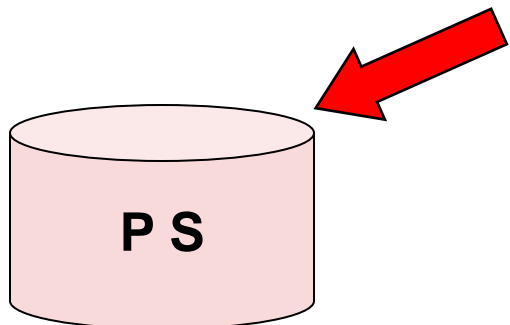
- ・抽出条件, 列選択をしたテストケースを利用
 してのデータ内容印刷が行えます
- ・各種定義情報の印刷が行えます

3-5. UNLOAD機能

(UNLOAD機能はRDBユーティリティのUNLOAD文を実行します)



- ・抽出条件, 列選択をしたテストケースを利用してのUNLOADが行えます
- ・DSI 指定でのUNLOADが行えます



3-6. 表定義機能

(表定義機能はRDBユーティリティを実行します)

接続 - DSPEMU
JSM2P00F *** 表 定 義 画 面 *** 98/07/08 14:29

表定義情報 (未入力の場合: 実行キーで一覧表示)

スキーマ名 : MD38PB94SC001
表名 : 受注表
英数字注釈 :
各国語注釈 :
データベース名 : MD38PB94

PRIMARY KEY 指定制約名: _____
UNIQUE 指定制約名: _____

保存データセットの情報 (識別子名が未入力の場合: 表定義JCLを保存しません)
識別子名 ==> _____
VOL 通番 _____ (TRKS)
初期量 _____ (TRKS)
増分量 _____ (TRKS)

実行キーで列情報定義画面を表示します
JSM22970-E 指定された表名は既に存在しています

HELP 終了 復帰 PFD 前 次 キー先読み

接続 - DSPEMU
JSM2P02F *** インデックス定義画面 *** 98/07/08 14:54

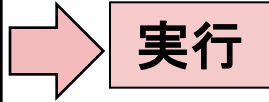
インデックス定義情報 定義番号 003

インデックス名 : _____
英数字注釈 : _____
各国語注釈 : _____
データベース名 : MD38PB94

処理区分 : 4
1 PRIMARY KEY指定のインデックス定義を作成する 定義済み
2 UNIQUE指定のインデックス定義を作成する
3 上記以外のキーのインデックス定義を作成する
4 パッチジョブを実行する

JOB文を入力してください。実行キーでジョブを起動します
0-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----
//J24105C1 JOB CLASS=A,MSGCLASS=R,NOTIFY=J24105
/**
/**

HELP 終了 復帰 PFD 前 次 キー先読み



実行

接続 - DSPEMU
JSM2P01F *** 列情報定義画面 *** 98/07/08 14:52

スキーマ名: MD38PB94SC001 表名: 受注表

列制約または表制約は定義順(1~64)を指定してください V: FULL

SEQ	列名	データ型	P	U	N	P	U
0001	受注番号	CH 00007					1
0002	受注日	DA		S			
0003	得意先コード	CH 00007		S			
0004	受注担当者コード	CH 00005		S			
0005	受注明細件数	NU 03.00				S	
0006	受注合計金額	DE 09.00					
0007	希望納期	DA					
0008	納入先コード	CH 00007					
0009	受注メモ	NV 00030					
0010	登録日	DA					
0011	登録時刻	TI					
0012							
0013							
0014							
0015							

HELP 終了 復帰 前頁 次頁 キー先読み

接続 - DSPEMU
JSM2P03F *** インデックス指定画面 *** 98/07/08 14:53

スキーマ名: MD38PB94SC001 表名: 受注表
インデックス名: IDX02 定義番号: 002

選択欄にインデックス定義順(1~64)を指定してください V: FULL

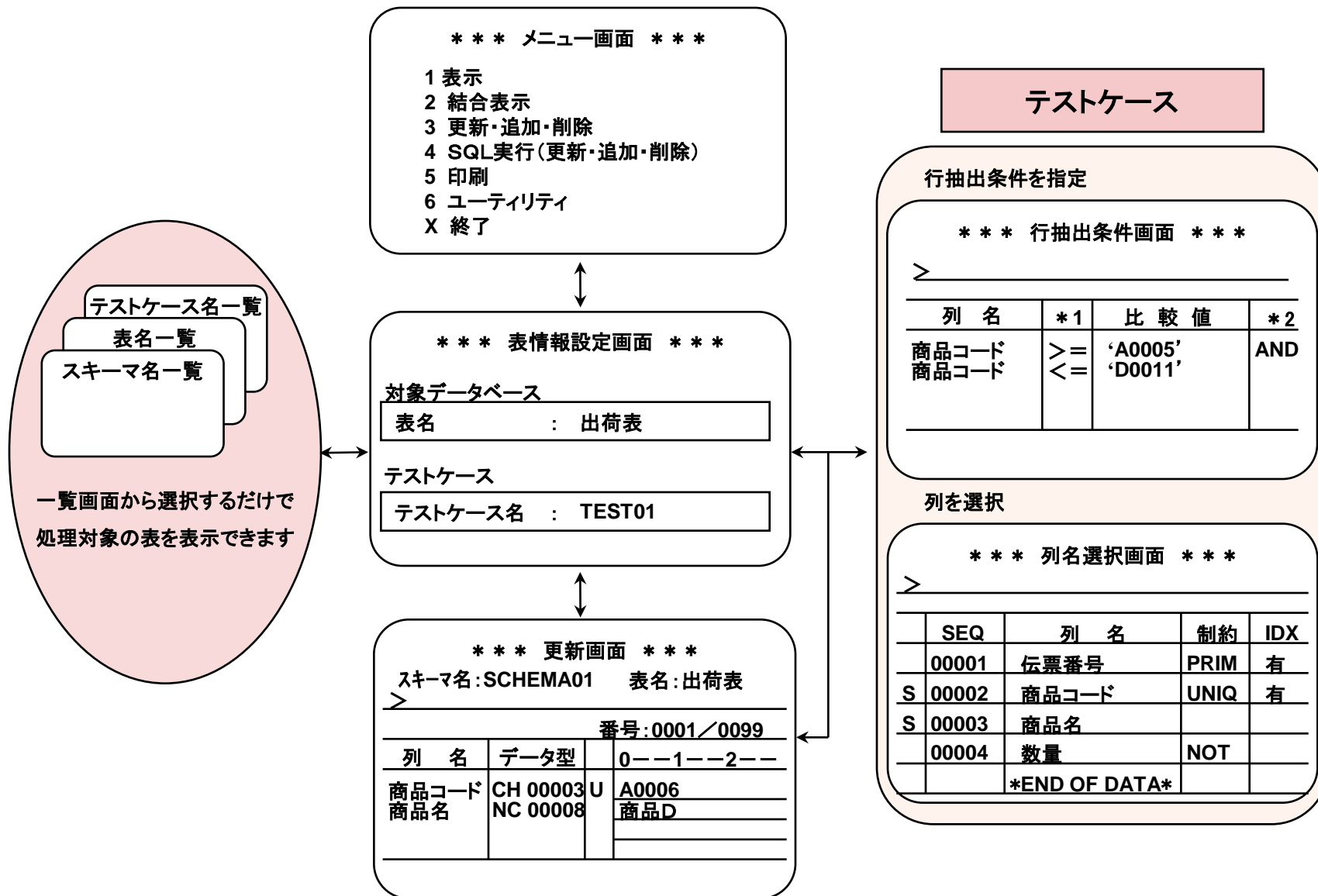
SEQ	列名	データ型	P	U	N	P	U
0001	受注番号	CH 00007					1
0002	受注日	DA		S			
0003	得意先コード	CH 00007		S			
0004	受注担当者コード	CH 00005		S			
0005	受注明細件数	NU 03.00				S	
0006	受注合計金額	DE 09.00					
0007	希望納期	DA					
0008	納入先コード	CH 00007					
0009	受注メモ	NV 00030					
0010	登録日	DA					
0011	登録時刻	TI					
0012							
0013							
0014							
0015							

HELP 終了 復帰 前頁 次頁 キー先読み

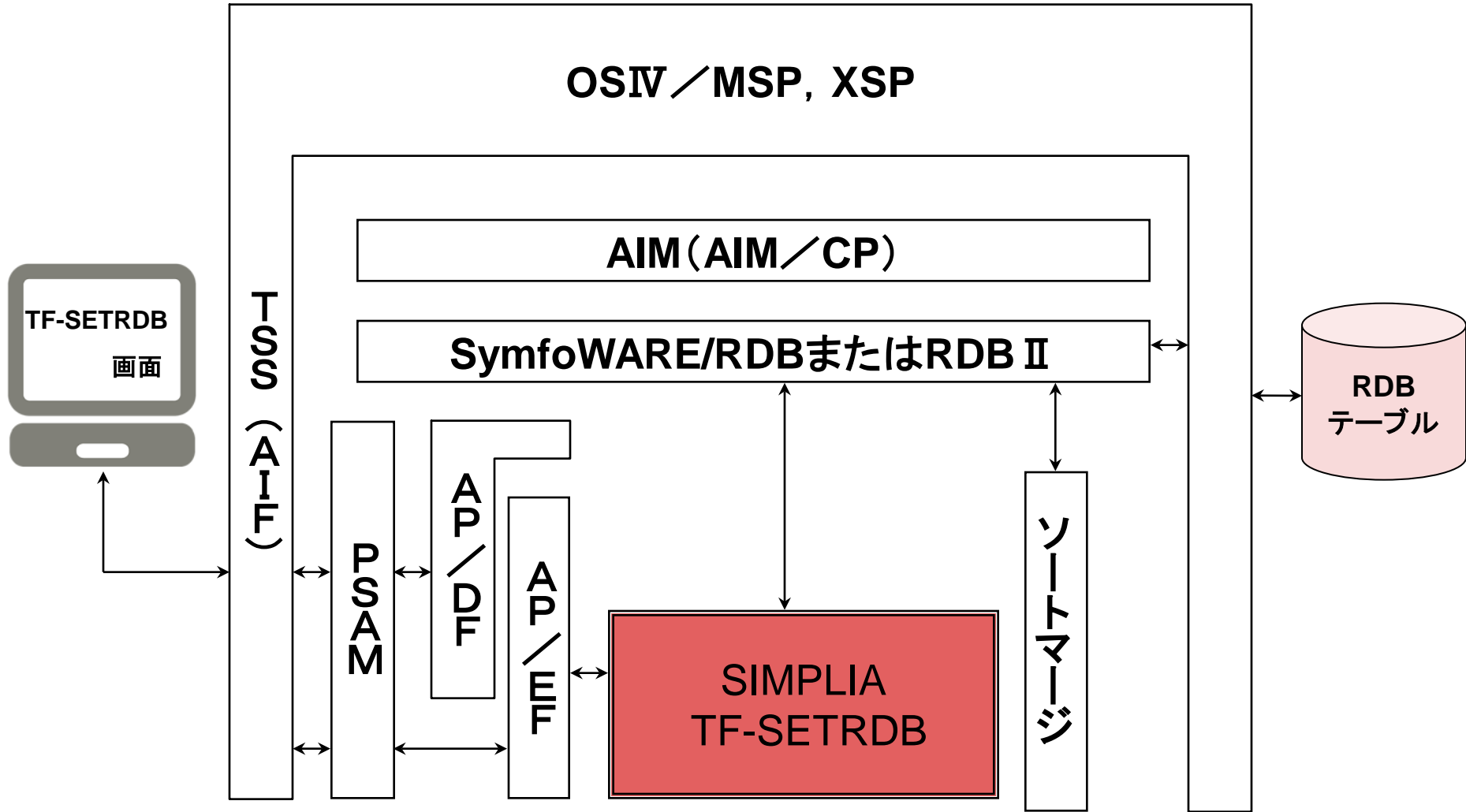
特長

・表定義, インデックス定義が画面对話にて行えます

4. 操作の流れ



5. 構成図



6. 動作環境

必須ソフトウェア

ソフトウェア名称	MSP	XSP	適用バージョンレベル
AF II	○	○	—
システム制御プログラム	—	—	—
SymfoWARE Server RDB	○注1	○注1	V10L10以降
RDB II	○注1	○注1	V10L10(PTF D93121)以降
COBOL85	○	○	V12L20(PTF L91121)以降 SymfoWARE/RDBにおいて、BLOB型,BINARY型,日時型, 時間隔型を利用の場合は、PTF L97031以降が必要
AP/EF	○	○	MSPの場合 AIM/CP V12L30を使用の場合はV10L40以降 AIM V20L10を使用の場合はV20L10以降 XSPの場合、V20L10以降
AP/DF	○	○	MSPの場合 AIM/CP V12L30を使用の場合はV10L40以降 AIM V20L10を使用の場合はV20L10以降 XSPの場合、V20L10以降
PSAM	○	○	V20L10(PTF D91121)以降
PFD	△	△	V10L30以降
SIMPLE LINDA 又は SIMPLIA TF-LINDA	△	△	V20L34以降

○：必須 △：関連 —：不要

上記表には、SymfoWARE Server RDBあるいはRDB IIの必須ソフトウェアは含まれません

注1) SymfoWARE Server RDBあるいはRDB IIのいずれか一方が必要

～ お客様のご要望にお答えします ～



Q/Aサービス

製品の使い方や適用例について詳しく聞きたい

無償レベルアップサービス

レベルアップ版は無償で提供して欲しい

最新情報のご案内サービス

新製品情報、バージョン／レベルアップ情報を知りたい

トライアルユースサービス

導入検討中のSIMPLIA製品を試用したい

製品媒体再提供サービス

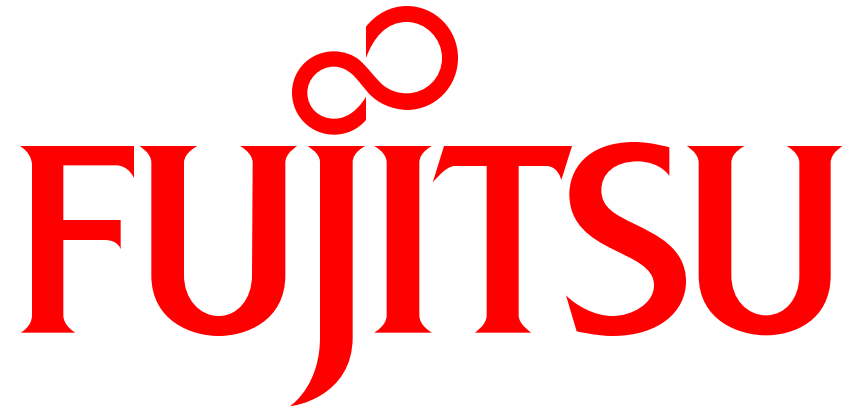
紛失・破損した製品媒体を再提供して欲しい

障害情報通知サービス

導入製品の障害情報を提供して欲しい

SIMPLIAに関する最新の情報は、下記URLの富士通サイト内検索から「SIMPLIA」で検索してください。

URL : <https://www.fujitsu.com/jp/>



shaping tomorrow with you